

保健体育



学研・教科の研究

ジャーナル

第 100 号

今号の内容

◎体育理論の実践 —第3学年「文化としてのスポーツの意義」—…………… 1

体育理論の実践

—第3学年「文化としてのスポーツの意義」—

元横浜市立西柴中学校（現横浜市立港南台ひの特別支援学校）教諭 花房 忠臣

はじめに

平成24年度より中学校では新学習指導要領の全面実施が図られた。今回の改訂の中では、「体育に関する知識」が「体育理論」と領域名が変更された。その背景には、運動する子どもとそうでない子どもの二極化、子どもの体力低下、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の育成が十分に図られていない、学習体験のないまま領域を選択している、体育・保健学習の内容の体系化が必要などの、保健体育科の課題があった。また、保健体育科の知識に関する領域については、運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しみ豊かなスポーツライフを送るために必要とされる基礎的な知識を定着させることが一層求められた。これらのことから、「体育理論」の必修化を通して、基礎的な知識を身に付けさせ、保健体育科の課題を解決していくことが求められたのである。

「体育理論」は、体育分野の一領域として扱い、各学年で3単位以上行うこととなっている。第1学年では「運動やスポーツの多様性」、第2学年では「運動やスポーツが心身に与える効果と安全」、第

3学年では「文化としてのスポーツの意義」を取り上げることになっている。

新学習指導要領実施の移行期間である平成22年度当時、横浜市の教育課程の専門委員を務めていた際、「体育理論」の実践を任された。正直、何をどこから行ってよいのかわからないところから始めなければならなかったが、ちょうどサッカーのワールドカップアフリカ大会が行われていたこと、授業では第3学年を担当していたことから、ワールドカップを題材にして、第3学年で取り上げる「文化としてのスポーツの意義」の実践を行うことにした。

授業実践にあたって考慮したことは、一方的に知識を教えていくような授業にならないようにした点、なるべく身近に感じられる題材を提供した点である。「体育理論」という名称より、何か難しいことを教えられるのではないかと、というマイナスなイメージを与えたくないと考えたからである。

今回紹介する実践では、サッカーのワールドカップアフリカ大会の開催が生徒の興味・関心につながったが、2020年のオリンピック日本開催は、「体育理論」の授業を考える上で、大きな題材になり得るのではないだろうか。

指導略案（1時間目/3時間）

1. 単元：文化としてのスポーツ〈ア 現代スポーツにおけるスポーツの意義〉
2. 目標：スポーツは、文化的な生活を営み、よりよく生きていくために重要であることを理解させる。
3. 展開

時間配当	学習内容と活動
〈導入〉 4分	<p>○これから3時間、新学習指導要領で学ぶことになる「体育理論」を進めていくことを伝える。</p> <p>○知識を得ることで、スポーツとの関わりを深めていくことがねらいであることを理解させる。</p> <p>○3時間の単元の中で、今回1回目の授業では、スポーツが生きていく中でとても重要な役割を果たしていることを学んでいくことを伝える。</p>
〈展開1〉 18分	<p>○クラスを6班に分け（食事班があればその形）、ふせんと模造紙、サインペン（黒・赤・青）を渡す。</p> <p>○班の中で、模造紙に書く人、話を進めていく人（班長）、発表者などを決めさせる。</p> <p>【発問①】</p> <p>●スポーツのイメージ、スポーツのよいところはどんなところかを、各自ふせんに書かせる。</p> <p>→最低3枚以上は書くことを目標にする。</p> <p>→書いたふせんを模造紙に貼っていく。同じような内容のものは重ねたり、近くにまとめる。</p> <p>→ふせんを貼り、内容をまとめたら、各自のワークシートに出た内容をすべて書かせる。</p> <p>【作業①】</p> <p>●出てきた内容を、スポーツを「する」ことに関わるもの、「見る」ことに関わるもの、「支える」ものに関わるものに分類する。</p> <p>→生徒の意見が、スポーツを「する」ことにだけ集まっていた場合は、「見て」感じることを、楽しめることはないか、また、大会やチームに関わることで感じられるもの、経験できることはないかを考えさせ、ふせんに書かせる。</p> <p>【発表①】</p> <p>●どんな意見が出たか、班ごとに発表させる（同じ意見の場合は異なる意見のみ発表）。</p> <p>【指導①】</p> <p>●スポーツは、自分が「する」ことで得られるもの、自分がしなくても「見る」ことで感じたり、楽しみを得られたりすること、大会のボランティアや、応援、審判など、スポーツを「支える」ことで得られるものがあることを理解させる。</p> <p>○湘南ベルマーレがJ2に降格した時にスポンサー企業が撤退し、チーム存続の危機に立たされた際、地域の人たちがチケット売りや会場のごみ拾い、警備などを私服にゼッケン1枚の姿で行うなどしてチームを支え、それが現在につながっていることを話し、スポーツを「支える」関わりがあることを理解させる。</p> <p>→他にスポーツを支える経験をした人がいるか、問いかけてみる。</p> <p>また、現在行われているワールドカップの楽しみ方も、サッカーをしている人の楽しみ方、知らない人が初めてみる世界レベルのプレーを見ることで楽しんだり、ルールを覚えたり興味を持つことができること、現地で大会を支えている人たちがいることなどを理解させる。</p>
〈展開2〉 18分	<p>○模造紙の裏（ふせんは貼ったままでよい）を使うように指示する。</p> <p>【発問②】</p> <p>●スポーツは、「生きがい」「交流」「自己開発」（新しい発見や気付き、新しい自分を作っていくこと）につながっている。各自にスポーツがどのように「生きがい」につながるか、「交流」につながるか、「自己開発」につながるか、それぞれふせんに書かせ、模造紙に貼らせる。同じ内容はまとめる。</p> <p>→「生きがい」「交流」「自己開発」について最低2枚以上は書かせる。</p> <p>→意見が出にくいようなら、それぞれ「する」「見る」「支える」の視点で、考えさせる。</p> <p>◇生きがいの例……スポーツをプレーヤーとして続けることが生きがい、巨人が勝つ試合を観るのが生きがい、毎年箱根駅伝のボランティアをするのが生きがい など</p> <p>◇交流の例……仲間と一緒にスポーツをすることが楽しい、仲間と一緒に観戦するのが楽しい、仲間と一緒に大会運営に関わるのが楽しい など</p> <p>◇自己開発の例……運動を続けることで自分自身を成長させることができる、スポーツを観ることによって新しい交流が生まれる、大会運営を支える関わりを持つことでボランティア精神が芽生える など</p> <p>【発表②】</p> <p>●どんな意見が出たか、班ごとに発表させる（同じ意見の場合は異なる意見のみ発表）。</p>
〈まとめ〉 10分	<p>●各自がふせんに書いた、自分にとってどのような形でスポーツが「生きがいに」につながるか「交流」ができるか、「自己開発」ができるかをワークシートに記入させる。</p> <p>●今日の授業の感想（学んだこと、感じたこと）をワークシートに記入させる。</p> <p>○来週の授業はワールドカップを題材に、国際的な大会が持つ役割について考えていくことを予告して終わる。</p>

ワークシートの例

<p>3年 組 名前</p> <p>体育理論 ワークシート</p> <p>● スポーツのイメージ、スポーツの良いところって何だろう？ (自分の意見)</p> <div style="border: 1px solid black; height: 50px;"></div> <p>(班員の意見)</p> <div style="border: 1px solid black; height: 50px;"></div> <p>● スポーツがどのように「生きがい」「交流」「自己開発(新しい気づきや発見)」につながるだろう？ (自分の意見)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>「生きがい」・・・</p><p>「交流」・・・</p><p>「自己開発」・・・</p></div> <p>(班員の意見)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>「生きがい」・・・</p><p>「交流」・・・</p><p>「自己開発」・・・</p></div> <p>★ 今日の授業の感想(学んだこと、感じたことなど)</p> <div style="border: 1px solid black; height: 50px;"></div>
--

4. 成果と課題

身近にあるスポーツを「する」「見る」「支える」という立場に整理し、そこから「生きがい」「交流」「自己開発」につながることを考えさせることにより、スポーツにはいろいろな関わり方があることを気づかせることができた。「支える」という立場や、「自己開発」を考えさせることが難しいと感じた。

グループを作り発表していく形をとったことで、授業に活気が生まれた。またふせんを用いることで自己の意見が述べやすくなり、それを分類して整理することで、思考力、判断力を発揮させることにもつながった。

指導略案（2時間目/3時間）

1. 単元：文化としてのスポーツ（イ 国際的なスポーツ大会などが果たす文化的な役割）
2. 目標：オリンピックや国際大会の文化的役割（教育的な意義・倫理的な価値）を理解させる。
3. 展開

時間配当	学習内容と活動
<p>〈導入〉 5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●前回の振り返り ・スポーツのイメージ、よいところを班で考え発表した。スポーツには「する」「見る」「支える」などの関わり方があり、「生きがい」や「交流」「自己開発」につながっていく文化的意義があることを学んだ。 ●国内外にはスポーツの文化的意義を具体的に示した憲章やスポーツ振興計画がある。 「ユネスコ 体育・スポーツ憲章」……“体育・スポーツの実践はすべての人にとって基本的権利である” →国際憲章（世界中に普及）であることを伝え、世界中でスポーツが重要視されていることを確認。 【発問① ワークシートQ1】 ●クイズ形式で考えさせ、全体で手を挙げさせて、答えを伝えながら説明する。 「スポーツ振興法」……“この法律は、スポーツの振興に関する施策の基本を明らかにし、もって国民の心身の健全な発達と明るく豊かな国民生活の形成に寄与することを目的とする。” →法の名称を答えさせ、日本でもスポーツを広める法があることを伝える（現在はスポーツ基本法）。
<p>〈展開1〉 20分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●本時では、国際的なスポーツ大会が果たす文化的役割について考える（クイズ形式で進める）ことを伝える。 【発問② ワークシートQ2】 ●国際的なスポーツ大会として知っているものをワークシートに答えさせる。 →オリンピック、ワールドカップなどは出やすいと考えられる。さらに、日本で開催されることもある世界的に行われている大会はないか考えさせる。 (例) 野球＝ワールドベースボールクラシック（予選は日本開催）、バレー＝グラチャン（ワールドグランドチャンピオンズカップ：4年に1度日本で開催）、世界卓球＝世界卓球選手権大会（2年に1回 ※2009年は横浜開催だった）など 【発問③ ワークシートQ3】 ●オリンピックの五輪の色は何か、またその並びを考えさせる。 →各自に考えさせ、何人かに発表させる。黒板に五輪の色の○を書いてもらう。 〈正解〉左上から青・黒・赤、左下から黄色・緑 →ヨーロッパ・アフリカ・アジア・南北アメリカ・オセアニアの5大陸を表し、これらの色と地色の白で世界のほとんどの国の国旗を描けるという理由で選んだとされている（他にも諸説ある）。 【発問④ ワークシートQ4】 ●オリンピックの理想を考えさせる（知らなくても1つ2つ考えてみる）。 →何人かに質問をする（平和に貢献や、世界の人々が交流できるなどが予想される）。 〈正解〉スポーツを通して心と体を鍛え、世界中の人達と交流し、平和な世界を築いていくこと（近代オリンピックの父、クーベルタンが提唱した内容）。 【発問⑤ ワークシートQ5】 ●オリンピックの理想のことを何というか質問する。 〈正解〉オリンピズム。その思想を広める運動がオリンピックムーブメント。オリンピックは参加することに意義があると言われるのも、勝つことだけでなく、オリンピズムが重要であるから。 【指導①】 →冬季オリンピックで服装がだらしない選手が問題になったが、勝てばよいだけでなく国の代表としての意識が問題視された。また、例えメダルを取れなくても、人々に感動を与えたり、勇気を与えてくれる選手や場面がオリンピックではたくさんあることを理解させる。
<p>〈展開2〉 15分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●カメルーンの映像に出てくる国民の言葉から、カメルーンにおけるワールドカップの価値を考える。 →DVDを用いて映像を5分～6分見せる。 ●ワークシートに感想、感じたことを記入させる。 【指導②】 →ワールドカップがカメルーンという国を世界に知らしめるもの、またワールドカップが国に希望を与えていること、ワールドカップが人々の心の支えになっていることなどを理解させる。
<p>〈まとめ〉 10分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●オリンピックや国際的なスポーツ大会の持つ役割をもう一度確認する。 →勝つことだけが目的ではない。心身ともに調和のとれた人間の発達に役立つことを願って行われる。（教育的・倫理的な価値がある） →出場すること、また開催国になることで、国全体に大きな影響を与えることになる。 ●今日の授業の感想（学んだこと、感じたこと）をワークシートに記入させる。 ○次の時間ではスポーツが人々を結び付ける働きがあることを学ぶことを伝える。

ワークシートの例

3年 組 名前
体育理論 ワークシート

Q1. 日本のスポーツに関わる法の名前は何か?

- ① スポーツ法 ② スポーツ振興法 ③ みんなのスポーツ法

Q2. 国際的なスポーツ大会で知っているものは何か?

Q3. オリンピックの五輪の色は何か?またその並び順は?

色 =

並び順 =

Q4. オリンピックの理想(目指すもの)は何だろうか?考えて書いてみよう。

Q5. またそのオリンピックの理想のことを何と言うだろうか?

- ① オリンピア ② オリンピックムーヴメント ③ オリンピズム

Q6. カメルーンのDVDを見て感じたこと。(ワールドカップ、サッカーの価値)

★ 今日の授業の感想(学んだこと、感じたことなど)

4. 成果と課題

難しい法や憲章の名前は1回目の授業で教えると生徒の意欲を損なうと考え、2時間目に教えることとした。クイズ形式で答えさせたことにより、スポーツに関心のない生徒の意欲を高めたり、授業の活性化につながった。

DVDの映像を見せることによって、生徒の興味・関心を引き出すことができたが、視聴覚機材の準備が不十分だったため、教室移動に時間を割き、学習の流れを途切れさせてしまった点が反省である。

指導略案（3時間目/3時間）

1. 単元：文化としてのスポーツ〈ウ 人々を結び付けるスポーツの文化的な働き〉
2. 目標：スポーツはさまざまな違いを超えて人々を結び付ける文化的な働きがあることを理解させる。
3. 展開

時間配当	学習内容と活動
〈導入〉 4分	<ul style="list-style-type: none"> ●前回までの振り返り。 ●今回は、スポーツはさまざまな違いを超えて、人々を結び付ける文化的働きがあることを学んでいく。
〈展開1〉 18分	<p>○クラスを6班に分け（食事班があればその形）、ふせんと模造紙、サインペン（黒・赤・青）を渡す。 ○班の中で、模造紙に書く人、話を進めていく人（班長）、発表者などを決めさせる。→できれば1時間目と違う人</p> <p>【発問①】 ●スポーツはさまざまな違いを超えて行うことができるが、その違いとはどんなものがあるか、各自ふせんに書かせる。 →最低3枚以上は書くことを目標にする。 →書いたふせんを模造紙に貼っていく。同じような内容のものは重ねたり、近くにまとめる。 →ふせんを貼り、内容をまとめたら、各自のワークシートに出た内容をすべて書かせる。</p> <p>【発表①】 ●どんな意見が出たか、班ごとに発表させる（同じ意見の場合は異なる意見のみ発表）。 →他の班から出た内容も各自のワークシートに書かせる。</p> <p>【指導①】 ●違いには、民族、国、人種、性、障がいの有無、年齢、地域、風土などがある。そのような違いがあるなかで、スポーツは国や地域や言語の違いを超えて、世界中に広まっていることを理解させる。また、年齢や性、障害などの違いを超えて交流するスポーツ大会が行われていることを理解させる。</p> <p>【発問②】 ●さまざまな違いを超えて行われているスポーツ大会にはどんなものがあるか、各自ふせんに書かせる。発問①のときと同様に行う。</p> <p>【発表②】 発表①のときと同様に行う。 ・パラリンピック→障がいを持っている人でも参加できる。 ・マラソン大会→年齢、男女、障がいの有無に関係なく一緒に行うことができる。 ・体育祭の混合リレー→学年や男女が混ざって走ることができる。 →出された意見や教師からの答えを、ワークシートに書かせる。</p>
〈展開2〉 18分	<p>○模造紙の裏（ふせんは貼ったままでよい）、または空いているスペースを使うように指示する。</p> <p>【発問③】 ●現在（2010年）行われているワールドカップ南アフリカ大会は、南アフリカにとって大きな意味がある。大会委員長は「夢が実現した」と話しているが、なぜ南アフリカにとって大きな意味があるのか、各自ふせんに書かせる。発問①のときと同様に行う。</p> <p>【発表③】 発表①のときと同様に行う。</p> <p>【指導③】 ●犯罪が多く、治安の悪い国として有名な国が、世界大会を開く力があることを伝えられるから。腐敗政治や深刻な貧困などの暗いイメージを変えていくことができるから。国民に夢と希望、自国を愛する気持ちを高めさせることができるから。 など</p> <p>【発問④】 ●南アフリカは長い間「アパルトヘイト」政策を進めていた。アパルトヘイトについて知っていることをふせんに書かせる。発問①のときと同様に行う。</p> <p>【発表④】 発表①のときと同様に行う。</p> <p>【指導④】 ●資料を配布する。→時間によって教師が読んで生徒に読ませてもよい。 ※アパルトヘイトや南アフリカのスポーツについての資料、中田英寿氏の「club.nakata.net」の南アフリカについてのサッカーの意義についての記事。</p>
〈まとめ〉 10分	<ul style="list-style-type: none"> ●アパルトヘイト政策を進めてきた南アフリカが、ワールドカップを開催することによって人種の壁を乗り越えてスポーツを行うことができたことを、もう一度確認する。 ●スポーツはさまざまな違いを乗り越えて人々を結び付ける重要な働きがあることを、もう一度確認する。 ●今まで3回の授業を通して、スポーツは勝敗を競ったり、自分が行うだけでなく、多くの効果、役割、働きがあることをもう一度理解させる。 ●今日の授業の感想（学んだこと、感じたこと）をワークシートに記入させる。 ●「文化としてのスポーツの意義」を3時間学んでの感想をワークシートに記入させる。

ワークシートの例

<p>3年 組 名前</p> <p>体育理論 ワークシート</p>
● スポーツは様々な違いを超えて行うことができる。その違いとはどんなことがあるだろう? (自分の意見)
(他の人の意見)
● 様々な違いを超えて行われているスポーツ大会には、どんなものがあるだろう? (自分の意見)
(他の人の意見)
● 南アフリカにとって、ワールドカップ開催は、どのような大きな意味があるだろう? (自分の意見)
(他の人の意見)
● 「アパルトヘイト」とは? (自分の意見)
(他の人の意見)
★ 今日の授業の授業の感想(学んだこと、感じたことなど)
★ 「文化としてのスポーツの意義」を3時間学んでの感想

4. 成果と課題

1回目の授業でふせんを用いたグループによる活動を行っていたので、授業を円滑に進めることができた。効果的な資料を提供することにより、生徒の興味・関心を高めることができた。

文化としてのスポーツの意義を考えるにあたって、それぞれの国や地域の文化の違い、人権問題について説明、整理するのが難しいと感じた。社会科や道徳等、他教科との連携や関連を図れるかが課題である。

体格・新体力テストの全国平均値

体 格 (2012年度)								
男 子					女 子			
身長 (cm)	体重 (kg)	座高 (cm)	年 齢		身長 (cm)	体重 (kg)	座高 (cm)	
116.5	21.3	64.8	6歳	小学校	6歳	115.6	20.9	64.4
122.4	24.0	67.6	7歳		7歳	121.6	23.5	67.3
128.2	27.1	70.3	8歳		8歳	127.4	26.3	69.9
133.6	30.5	72.6	9歳		9歳	133.4	29.9	72.6
138.9	34.0	74.9	10歳		10歳	140.1	34.0	75.8
145.0	38.2	77.5	11歳		11歳	146.7	38.9	79.2
152.4	44.0	81.3	12歳	中学校	12歳	151.9	43.7	82.2
159.5	49.0	84.9	13歳		13歳	155.0	47.4	83.9
165.1	54.2	88.2	14歳		14歳	156.5	49.9	84.9
168.4	59.2	90.3	15歳	高 校	15歳	157.2	51.6	85.4
169.8	61.1	91.3	16歳		16歳	157.6	52.5	85.7
170.7	62.9	91.9	17歳		17歳	158.0	52.9	85.8

(文部科学省「学校保健統計調査」2013年3月)

新 体 力 テ ス ト (2011年度)												
	年齢	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横跳び (点)	20mシャトルラン (折り返し数)	持久走 (秒)	50m走 (秒)	立ち幅跳び (cm)	ソフトボール投げ・ハンドボール投げ (m)		
男 子	小学校	6歳	9.41	11.33	25.86	27.58	18.22		11.53	115.33	8.81	
		7歳	11.11	14.29	27.42	31.35	28.84		10.68	126.79	13.09	
		8歳	12.98	16.10	29.04	35.23	37.54		10.12	136.14	16.67	
		9歳	14.84	18.39	31.17	39.12	46.83		9.56	147.14	21.54	
		10歳	17.03	19.68	33.20	42.29	54.40		9.28	154.54	25.48	
		11歳	19.90	21.73	34.96	45.76	62.07		8.88	164.59	29.66	
	中学校	12歳	24.97	24.48	39.75	49.71	72.63	411.08	8.44	182.75	19.39	
		13歳	30.58	27.80	44.58	52.92	90.02	376.31	7.83	201.20	22.08	
		14歳	35.68	30.23	48.00	55.65	96.22	364.62	7.47	214.53	24.88	
	高校(全日制)	15歳	38.68	29.67	49.01	55.60	87.73	377.22	7.44	218.22	24.98	
		16歳	41.36	31.62	50.82	57.08	94.08	363.33	7.28	226.35	26.44	
		17歳	42.71	32.79	51.98	58.09	94.64	361.28	7.21	229.42	27.19	
	女 子	小学校	6歳	8.81	10.83	27.92	26.44	15.42		11.88	106.77	5.80
			7歳	10.34	13.30	29.69	29.62	22.08		10.98	118.84	7.91
			8歳	12.18	15.00	31.93	33.27	27.40		10.39	127.23	9.88
			9歳	14.13	16.61	34.04	36.88	34.96		9.89	138.05	12.37
			10歳	16.55	18.37	37.08	40.24	41.97		9.53	146.19	14.75
11歳			19.72	19.79	39.85	42.98	48.80		9.18	155.77	17.54	
中学校		12歳	22.07	21.07	43.02	45.10	53.65	292.37	8.98	166.59	12.61	
		13歳	24.14	23.23	45.79	47.01	62.21	282.29	8.72	172.13	14.01	
		14歳	25.96	24.55	47.49	47.97	60.66	283.46	8.67	175.40	15.02	
高校(全日制)		15歳	25.93	22.95	46.75	46.69	51.17	302.93	8.92	169.95	14.59	
		16歳	26.64	23.92	48.09	46.88	53.92	301.77	8.86	172.36	15.02	
		17歳	27.07	24.80	49.40	47.78	54.91	305.16	8.87	173.89	15.39	

※12~17歳は20mシャトルランと持久走を選択実施。

※6~11歳はソフトボール投げ、12~17歳はハンドボール投げ。

(文部科学省「体力・運動能力調査」2012年10月)

学研・教科の研究

保健体育ジャーナル [100号]

◎発行人……石津正文

◎編集人……近藤 茂

◎発行所……株式会社 学研教育みらい

- ◎お問い合わせは、「学校教育事業部」へ
- 〒141-8416 東京都品川区西五反田2-11-8 学研ビル
- 内容については、Tel.03-6431-1568 (編集) それ以外のことは、Tel.03-6431-1151 (販売)
- 「学研 学校教育ネット」<http://gakkokyoiku.gakken.co.jp/>
- ◎「保健体育ジャーナル」のPDF版は、上記ホームページから。電子版(iOS用)は、「学研電子ストア」から。